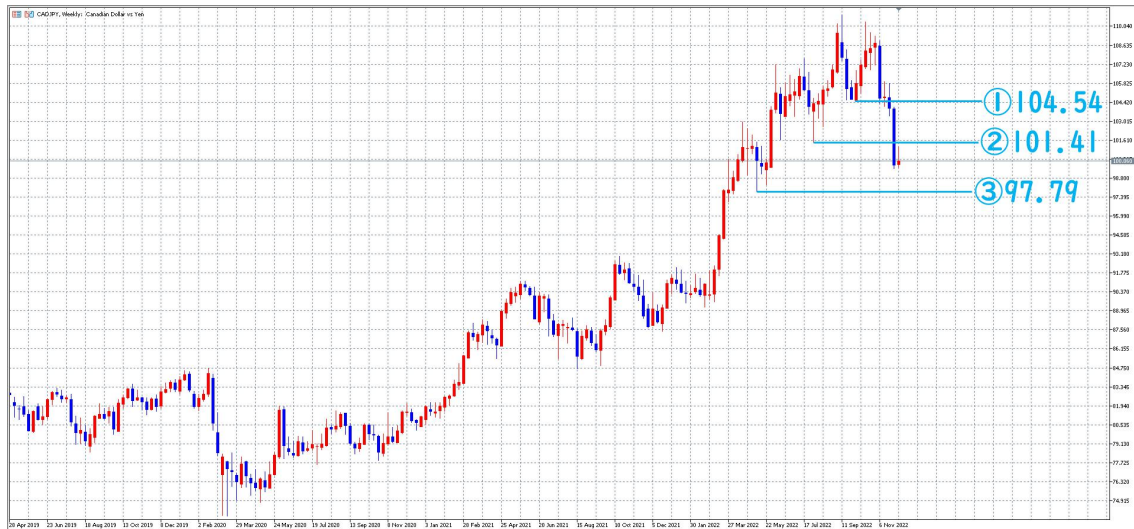


## 【クロス円のシナリオ】



加ドル円の週足チャートです。

加ドル円のプライマリーサイクルの起点は、①・②・③の3つの起点が想定できます。

①・②が起点の場合は、レフトトランスレーションを確定しています。

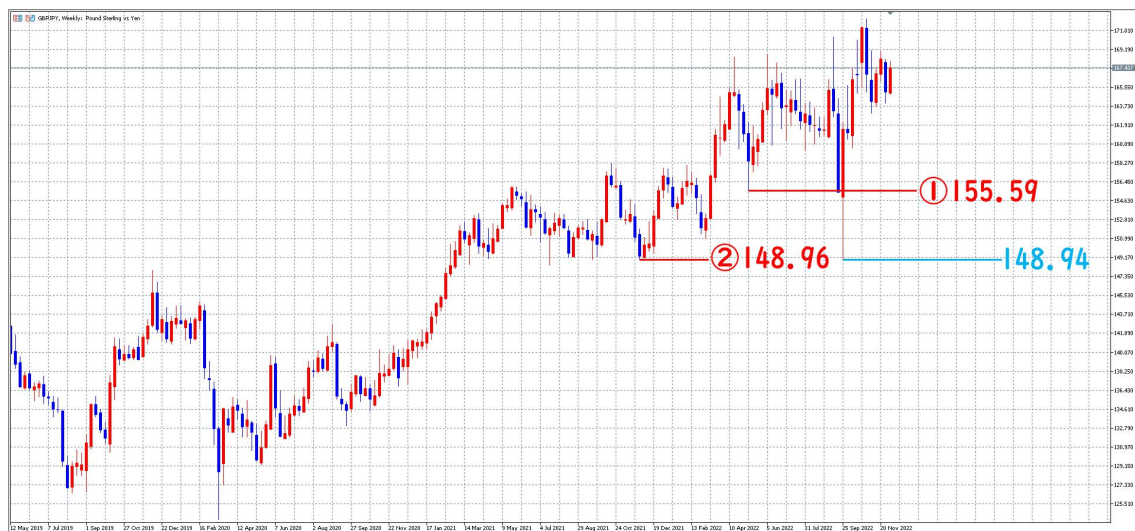
③が起点の場合のみ、プライマリーサイクルが現在 31 本でボトム時間です。

なので、①・②が起点の場合は、このままボトム時間まで下落していきます。

③が起点の場合のみ、これから上昇していきます。

①が起点の場合は、現在 10 本です。

②が起点の場合は、現在 19 本です。



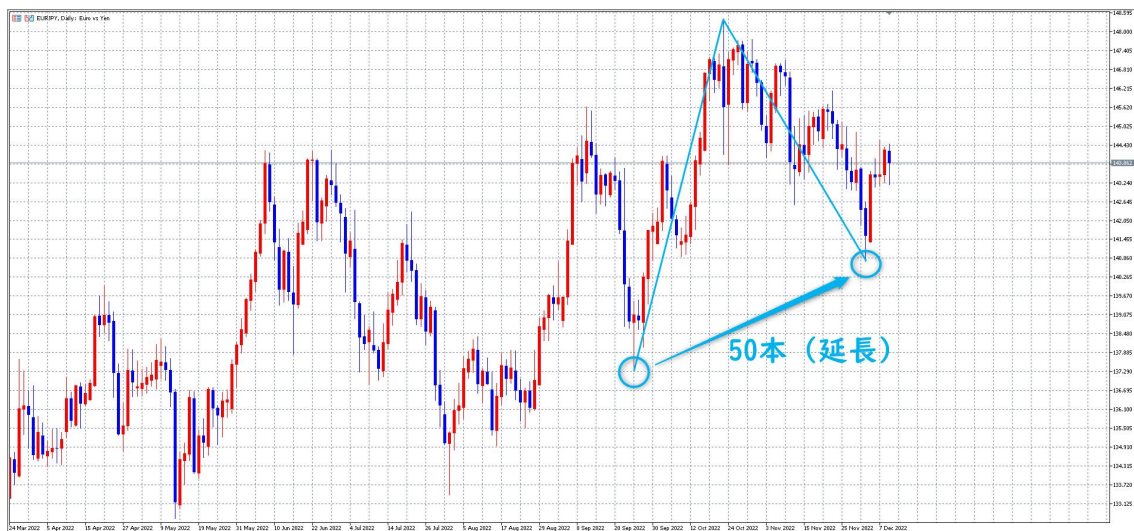
ポンド円の週足チャートです。

ポンド円のプライマリーサイクルは、前回のプライマリーサイクルが**赤のライン**の①が起点でも、**赤のライン**の②が起点でも、レフトトランスレーションを形成しています。

レフトトランスレーションを形成してから天井を超える上昇をしているので、ポンド円のプライマリーサイクルは、100%**水色のライン**が起点です。

なので、ポンド円のプライマリーサイクルは現在 11 本です。

この状況から、加ドル円のプライマリーサイクルの起点は、①か②の可能性が高い事が予測されます。



ユーロ円の日足チャートです。

前回のメジャーサイクルが延長をしています。

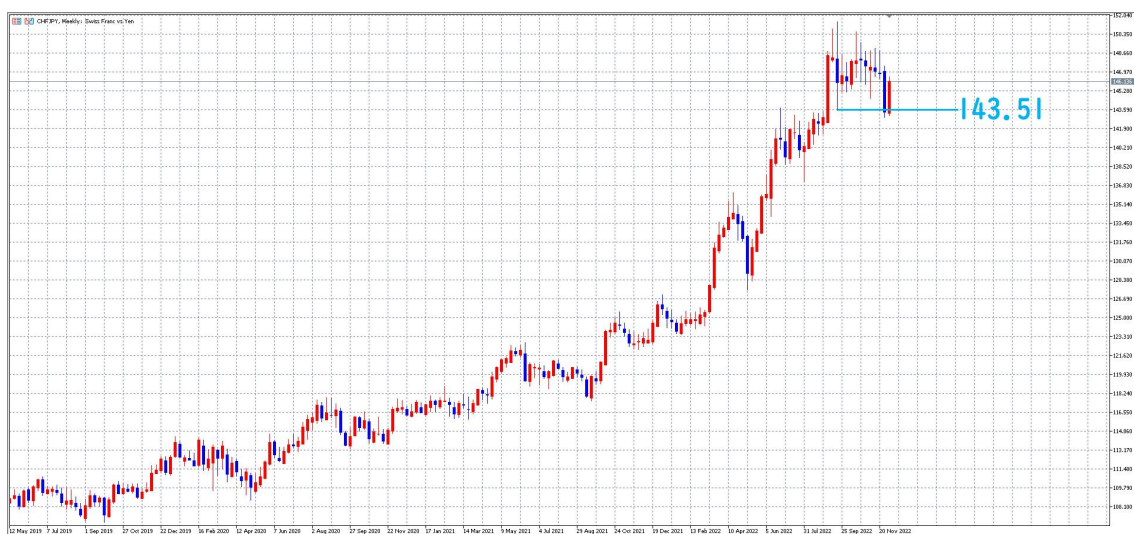
あくまで傾向ですが、延長や短縮のイレギュラーは、1つ大きい時間足（4時間足<日足<週足<月足）のサイクルがスタートして、1つ目のサイクルと最後のサイクルで起きやすいです。

なので、前回のメジャーサイクルはプライマリーサイクルがスタートして1つ目のメジャーサイクルの可能性が高いと思っています。

上記の理由で、前回のメジャーサイクルが第1メジャーサイクルだと思うので、前回のメジャーサイクルの起点（133.39）がプライマリーサイクルの起点だと思います。

なので、プライマリーサイクルは現在11本だと思っています。

以上の週足の相場状況から、クロス円のプライマリーサイクルは現在10本前後のシナリオの可能性が高いと思います。



スイス円の週足チャートです。

上記の理由から、スイス円のプライマリーサイクルの起点は、**水色のライン**が起点です。

**水色のライン**が起点で、既に起点割れをしているので、レフトトランスレーションを確定しています。

そして、加ドル円のプライマリーサイクルも①が起点の可能性が高いので、レフトトランスレーションを確定しています。

なので、クロス円の今回のプライマリーサイクルは、レフトトランスレーションを形成する可能性が高いと思っています。

以上の理由で、相場は変わらず売り目線で見えています。

ただ、このシナリオで少し引っかかるポイントは、スイス円の前回のプライマリーサイクルの天井とボトムが同じロウソク足で形成された事と、豪ドル円の今回のプライマリーサイクルの天井が2本目という部分です。

なので、クロス円のプライマリーサイクルが10本前後というシナリオは70%程度の信用度で見えています。

とりあえずは、プライマリーサイクルが10本前後のシナリオで見えていきますが、また動き方等で別のシナリオだと思ったらトレードの仕方を変えていきます。